

報道関係者各位

2016年5月31日

認定 NPO 法人難民支援協会

今年で4年目、「難民の故郷の味」1万食突破

— 学生食堂からはじまる難民支援 Meal for Refugees —



難民支援協会(JAR)が出版したレシピ本「海を渡った故郷の味 Flavours Without Borders」から生まれた社会貢献プロジェクト「Meal for Refugees(M4R)」が、今年で4年目を迎え、今季は6月20日「世界難民の日」の前後1週間、6大学で実施されます。

M4R は日本に逃れてきた難民の家庭料理を学食メニューに導入し、食べることを通じて難民を知り、1食20円を寄付として難民を支える取り組みです。昨年は全国の大学で開催され、累計1万食を突破！ M4Rを通じて、日本国内を含む難民問題の認知が広がっています。各大学の取り組みについてご取材をお願いします。

シリアをはじめ、世界中で6,000万人以上の方が故郷を追われているという難民問題は、日本の学生にも身近な社会問題として認知されつつあります。この春学期には、世界難民の日に合わせて6大学でM4Rを導入します。明治大学・中野キャンパスでは大学周辺でお弁当のワゴン販売を提供する企業「ティーム」とのコラボが実現し、大学食堂の外でもM4Rが開催されます。



各大学では、メニュー導入に合わせて学生たちが認知啓発のために様々なイベントを企画しています。これからもM4Rを通じて、学生たちとともに難民を知る機会を全国でつくっていきます。

▼参加予定大学（2016年春学期）

大阪大学	6/6-6/20	関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス	6/20-6/24
東京女子大学	6/13-24	聖心女子大学	6/20-25(月・水・金・土)
明治大学 和泉キャンパス	6/13-24	大妻女子大学	6/28-6/30

■本件に関するお問い合わせ

認定NPO法人難民支援協会 広報部 田中・野津

▼イベント情報「歩み～Refugee×Youth～」

日時 | 6/12(日) 13:30 - 16:00 (開場 13:00)

会場 | 東京ウィメンズプラザ (表参道駅より徒歩7分)

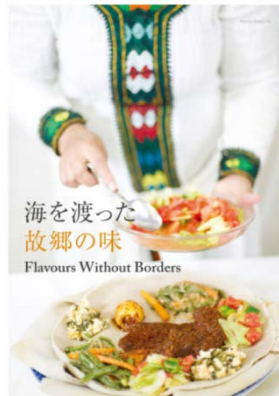
内容 | ワークショップ/映像上映/ユース世代の難民とNGO職員のトーク (難民支援協会・田中志穂 登壇)

主催 | J-FUN ユース

詳細 | www.facebook.com/jfunyouth お申込み⇒jfunyouth.wrd16@gmail.com (氏名を記載)

(参考資料)

レシピ本「海を渡った故郷の味」について



日本に逃れてきた難民のことをより多くの人に知ってもらうことを目的として作られたレシピ本「海を渡った故郷の味」は、ミャンマー(ビルマ)、クルド、イラン、エチオピアなど世界15の国・地域から45の家庭レシピが掲載された、日・英併記のレシピ本です。

本書は、難民支援協会が支援を行っている難民からレシピを教えてもらい、ともに料理を作りながら制作しました。家庭料理の味や匂いの記憶は、生まれ育った土地の記憶を呼び起こすものです。迫害という過酷な経験を持つ難民にとって、料理を通じて思い出す故郷は、必ずしも幸せな風景ばかりではありません。それでも、家庭料理を共に囲んだ大切な人たちとの思い出も、その記憶にはつまっています。



各レシピに掲載しているコラムには、食文化の豆知識、作り方のコツに加え、作り手である難民の料理をめぐる個人的ストーリーも紹介されています。また、料理の中には、母国の家族が送ってくれるスパイスを使い、故郷の味を再現するようなレシピもあれば、長年の日本での生活を経て変化していったレシピもあります。

2013年の発売からすでに7,000部を発行。多くの読者からたくさんの声が届いています。

「“難民”を遠い存在に感じていましたが、本を読み、実は身近な存在であることに気づかされました。」

「各レシピにあるコラムも興味深く、難民の方の故郷に対する愛情が伝わってきます。」

「胸がいっぱいで、うまく書き表せません…。この本との出会いに感謝します。」

「日本にある食材で工夫して作れるよう再現してくださっているので、本当に簡単に美味しく作れました。」

▼レシピ本「海を渡った故郷の味 -Flavours Without Borders -」について

[発売日] 2013年2月15日

[定 価] 1,500円(税別)

[出版社] 株式会社ジュリアン

⇒購入はこちらから www.flavours-without-borders.jp ※立ち読みもできます。

難民支援協会とは www.refugee.or.jp

日本に逃れてきた難民が、自立した生活を安心して送れるよう支援している認定NPO法人。難民申請の手続きや、日本での医食住、教育、就労などに関する支援を行うと同時に、難民受け入れに関する政策提言や、イベント「Refugee Talk」(月1回)、「難民アシスタント養成講座」(年3回)などの開催を通じた認知啓発も実施。年間の支援対象者の国籍数は約50か国、来訪/外部相談件数は2,500件以上。

国連難民高等弁務官事務所(UHCR)の事業実施契約パートナー。